

技術革新と顧客満足を追求め続けた半世紀

50th anniversary

東京エレクトロン(TEL™)は、2013年11月に創立50周年を迎えます。1963年の創業以来、常に時代の一步先を見据え、市場ニーズに応えるべく事業形態を変化させながら、先端エレクトロニクスの分野において技術革新をリードしてきました。本格的なモバイル・ビッグデータ時代を迎えた今、半導体は新たな成長期に入りつつあります。次の半世紀に向けて、当社は、技術開発を強化し、さらなる企業価値の向上を目指します。

創立50周年記念ロゴマークのご紹介

東京エレクトロンは、2013年11月11日に創立50周年を迎えるにあたり、創立50周年記念ロゴマークを制定いたしました。



夢のある未来社会へ向けて

このロゴマークは、東京エレクトロン創立50周年を機に、新たな未来へ向けた私たちの意思を表明するシンボルとして制定されました。私たちが標榜する「夢のある未来社会」のあり方を、「ひと」と「先端科学技術」と「環境・自然」が手を取り合い、ひとつの軸として動き出す姿によって象徴しています。このロゴマークをさまざまなTELのコミュニケーションの場、アプリケーションに活用していくことを通して、社員同士も手を取り合い、一丸となって未来社会に貢献していけることを願っています。

創業の時代、 技術商社としてスタート	ビジネスの大転換、 輸出ビジネスから撤退	メーカー機能を強化、 合併会社を次々と設立	自社生産の拡大、 世界のリーディング カンパニーへ	グローバル化の時代	生産革新	新たな成長への 挑戦
63 64 65 66 67 68 69 70	71 72 73 74 75 76	77 78 79 80 81 82 83 84 85 86	87 88 89 90 91 92 93	94 95 96 97 98 99 00 01 02 03 04 05 06 07 08	09 10 11 12 13	

Accelerating

technology development

Technological innovation creates value for stakeholders

ICテストや電子部品など最先端の技術製品の輸入、カーラジオなど民生機器の輸出を手掛ける

1963
創業



当時のカーラジオ

売上の6割を占めるカーラジオなどの民生機器の輸出から撤退

付加価値の高い半導体製造装置、コンピューター関連機器、電子部品の輸入に特化

1968

テル・サームコで拡散炉の国内生産開始



1964

半導体製造装置輸入事業に参入



サームコ社製拡散炉

海外メーカーとの合併事業の中から独自の製造技術を培うとともに、総合研究所を設立して研究開発機能を強化

1980

東京証券取引所市場第二部上場

1984

東京証券取引所市場第一部に指定替え

半導体製造装置メーカーとして現在の製品基盤を築く

1986-1987

新たに製造子会社を設立し、合併会社を再編するなどしてメーカー機能を強化



1990

液晶ディスプレイ製造装置事業に本格参入



海外の販路開拓と技術サポートのために、拠点のグローバル展開を強力に推進

1996

Tokyo Electron America 新本社ビルおよびトレーニングセンターを開設



新生産方式採用など生産性向上に取り組む

2007



東京エレクトロン九州新生産棟完成

自社開発に加えて、外部から積極的に次世代技術を導入

2011



東京エレクトロン宮城新工場設立

2012

4件の企業買収を実施



1981

米国企業との合併会社を次々と設立し、商社機能に加えて最先端技術を持ったメーカーへと転換を図る



インサーキットボードテスタ



イオン注入装置



プラズマエッチング装置

2002



アルパニー・ナノテクノロジープログラムに参加

2009



TEL Technology Center, Taiwan

2012



テクノロジーセンターつくば

2012



TEL Technology Center, Korea